

## 令和6年度 第2回越谷市立小中学校学区審議会会議録

- 1 開催日 令和6年11月19日（火）
- 2 会場 中央市民会館 5階 第4～6会議室
- 3 開閉会 開会 午後3時00分  
閉会 午後5時00分
- 4 出席委員 深井 晃 委員 岡本 順 委員 榊原 久隆 委員  
滝本 守 委員 和田 昌子 委員 後藤 桂子 委員  
鈴木 実 委員 高山 水子 委員 小池 美佳 委員  
浅井 亜由美 委員 馬場 れい子 委員 石塚 忠男 委員  
深野 弘 委員 内田 泰代 委員 吉井 仁実 委員  
星 薫 泰 委員 五味田 真紀子 委員  
5 欠席委員 原田 肇子 委員 手塚 麻美 委員 加瀬 朱子 委員
- 6 事務局出席者  

|                         |        |
|-------------------------|--------|
| 学校教育部長                  | 青木 元秀  |
| 学校教育部副部長兼学校管理課長         | 五十嵐 治  |
| 学校教育部副参事兼学務課長兼小中一貫校整備室長 | 磯山 貴則  |
| 指導課長                    | 千嶋 淳一  |
| 給食課長                    | 平野 浩孝  |
| 教育センター所長                | 菊池 邦隆  |
| 学務課学事担当主幹               | 武内 英樹  |
| 学務課学事担当主任               | 柴田 史華  |
| 学務課学事担当主事               | 青谷 奈津季 |

- 7 報告事項  
令和6年度第1回越谷市立小中学校学区審議会会議録について
- 8 協議事項  
  - (1) 小中学校通学区域制度等の今後の在り方について
  - (2) 今後のスケジュール（案）について

### 【令和6年度第2回越谷市立小中学校学区審議会会議録要旨】

- 1 開 会
- 2 報告事項  
令和6年度第1回越谷市立小中学校学区審議会会議録について  
事務局より前回の審議会会議録について説明を行い、原文のまま承認された。
- 3 協議事項  
  - (1) 小中学校通学区域制度等の今後の在り方について  
審議会条例第5条第2項の規定により、星会長が議長となり議事の進行を行う。  
議 長 事務局に説明を求める。  
事務局 本市の小中学校通学区域制度等の現状について説明を行った。  
議 長 委員に質疑・意見を求める。  
(質疑・意見)  
委 員 学校規模・学校配置の適正化に関する資料の学級数に特別支援学級数が含まれない

- のはなぜですか。特別支援学級も1学級で1教室を使うので、適正化を考える上では特別支援学級を含めた学級数が必要だと思います。
- 事務局 国等の調査においても通常学級の数に基づいて考えているため、また特別支援学級は1学級が8名であるためです。本市では特別支援学級設置されていない学校があるため、一定の基準で比較するために通常学級数を表記しています。
- 議長 次回以降、特別支援学級数を外書きで併記しておく等、検討していただくと良いと思います。
- 委員 全国的な少子化で学校数が減少していると思いますので、全国の学校数のデータを示していただきたいです。小規模化した学校が多い地域がどのような取り組みをしているのか参考にしたいです。
- 議長 可能であれば次回以降お示しください。
- 事務局 承知しました。
- 委員 資料ではPTA活動の負担を分散しやすいことが過大規模校のメリットに書かれているが、実際はPTA本部の人数が変わらないため児童数が多い分負担は増えていると思います。もう一つ、川柳小学校が45学級とあるが、分離する高学年校舎も合わせた学級数ですか。校舎は違うが学校として大規模校と認識して対策を打つということでしょうか。
- 事務局 川柳小学校は高学年校舎も合わせた学級数です。学校としては1つとして考えていきます。
- 委員 地域のコミュニティ活動がやりやすいよう自治会や町内会と学区が一致するようお願いしたいです。
- 議長 これまでの審議会でもコミュニティ区と学区の整合性を図ることが課題となっていますので、できるだけ整合性を保てるようにご審議いただければと思います。
- 委員 1学級の人数は何名まででしょうか。
- 事務局 小学校は35名、中学校は1学年が38名、2・3学年が40名です。
- 委員 コミュニティ区と学区が合っていないと行事の日程が分散してしまうこと等も含めて考えてもらいたいです。
- 議長 なるべく合わせたいですが、完全に一致させることは中々難しいかもしれません。
- 委員 新方小学校と北陽中学校、弥栄小学校と新栄中学校が小中一貫の取り組みをしているが、新方小学区の大吉は新栄中学区です。大吉の学区を新方小学校から弥栄小学校に変えてもらいたいです。そうすると新方小学校の人数がさらに減ってしまうので、北陽中学校のほうに移転する等してもらえたらと思います。
- 議長 このようなご意見は色々な地区でお持ちだと思います。次に学校規模や学校配置の適正化について、法令に基づく基準で考えていくのか、自治体独自に基準を設けるのかについて、ご意見はございますか。
- 委員 自治体ごとの事情があるので、独自の基準でよいのではないのでしょうか。
- 議長 無理に国の基準に当てはめず、従前どおりの基準ということですね。
- 委員 国の法令ができたときにはここまで特別支援学級が増えることを想定されていなかったが、近年特別支援学級への入級を考える方が増えています。1学級8名ということもあり、学級数が大幅に増える可能性があります。そういう意味でも独自の基準で柔軟に捉えることは必要だと思います。
- 議長 それでは皆さんのご意見から従前どおりの基準とさせていただきます。  
次に、小規模校・大規模校の特性やそれぞれの持つメリット・デメリットを踏まえた学校規模の適正化について、また学区内に学校が立地していない区域があること

を踏まえた学校配置の適正化について、児童生徒の学習環境の改善を図るために今後どのような取り組みを講ずることが必要か、についてご意見はございますか。

委 員 大きなテーマなので1回で結論を出すことは難しいです。

議 長 確かに大きな問題ですので、焦って結論を出そうとは思っておりません。

委 員 今後どのような取り組みが必要かをここで議論するとなると、家の学区が違うから直してほしいというようなことはここで決められることなのですか。

委 員 学区審議会は学区編成に関し必要な調査及び審議を行うとなっています。つまり地図上に線を引くために今後の方針を考える上で色々な意見を伺う場としてあるのだと思います。例えば、平成26年に小中一貫教育を進めたらどうかという答申をいただいて小中一貫校の設置が進んでいるように。ついでに、大規模校・小規模校ともに経験した校長としてお伝えしたいのですが、コロナのときにタブレット端末が導入されネットワーク化が進んだなど、学習環境が変化しています。学校規模によるメリット・デメリットを考えると、皆さんの周りの学校は今どうなっているか見ていただくのが良いと思います。また、大規模校についてPTA役員を決めるのが大変という意見がありましたが、校長としては母数が増えた分、一声かけるとボランティアで来てくれる人数は増えたと感じるので、大規模校のメリットと考えてもいいと思います。

委 員 地図に線引きをすることなので、学区と自治会の線引きというのが分かる資料を次回作っていただきたいです。

事務局 かなりの数の自治会があるので、自治会の区域図よりは13地区が分かる資料をご用意できればと思います。

委 員 小学校区と中学校区が一致していないところが多いので、そこを先に一致させてあげてほしいと思います。

議 長 完全な一致は難しいかもしれませんが、小学校区と中学校区の一致、コミュニティ区との一致の両立が図れるような方向を目指していきたいと思います。

委 員 先ほどの大吉の方に何かアドバイスを差し上げられないものですか。荻島小学校も学区が広く、暑い日などは大変だろうと思います。

事務局 様々なご意見を今後もいただけますとありがたいです。

議 長 本審議会の他に、施設の統廃合や複合化などを含めた今後の学校の在り方については新たな組織を立ち上げて検討を進め、本審議会と連携を図りながら取り組んでいく必要性について、というテーマについてはどうでしょうか。新たに他の審議会が必要かどうかというのを、ここで結論を出す必要がないと私は思うのですがいかがでしょうか。

委 員 学校の施設を新しくするとかなら分かるのですが、今後そういった可能性があるのであればその時に審議会としても意見させていただきたいです。

委 員 越谷市公共施設等総合管理計画の中に越谷市学校施設長寿命化計画というものがある。建物を80年使うために40年で長寿命化の工事、60年で大規模改修をしようという話が出ているのですが、川柳小学校の校舎の1つはあと3年で築60年になりますが改修工事はされていません。学校の統廃合を考えるにあたって児童数ではなく建物が安全かどうか心配です。建物に特化した審議会を作り、本審議会と連携をとってやっていくのが良いと思います。

## (2) 今後のスケジュール（案）について

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 今後のスケジュール（案）について説明を行った。

議 長 委員に質疑・意見を求める。

(質疑・意見)

委 員 小中一貫校が始まると中学校選択制はどうなりますか。

事務局 今のところ小中一貫教育を推進しても中学校選択制は継続していく考えです。ただ今後、小中一貫教育に中学校選択制はそぐわないというご意見等があれば検討していかねばならないと考えております。

委 員 小学校の選択制は検討されないのですか。小中一貫校に中学校から編入するということですか。小学校選択制があれば、学区の問題で、目の前に学校があるのに通えないという人が通えるようになるのではないですか。

事務局 小学校選択制については小学生が学区外から自力で通えるのか等の問題があり、考えておりません。ご意見として承りたいと思います。

#### 4 閉会

以 上